衣食住，消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。

イ　家庭生活に必要な事柄について触れ，課題や解決策に気付き，実践し，学習したことを伝えるなど，日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。

ウ　家族や地域の人々とのやりとりを通して，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫しようとする態度を養う。

(2) 内　容

職業分野

A　職業生活

ア　働くことの意義

働くことに関心をもち，作業や実習等に関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 働くことの目的などを知ること。

(ｲ) 意欲や見通しをもって取り組み，自分の役割について気付くこと。

(ｳ) 作業や実習等で達成感を得ること。

イ　職業

職業に関わる事柄について，考えたり，体験したりする学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 職業に関わる知識や技能について，次のとおりとする。

㋐　職業生活に必要な知識や技能について知ること。

㋑　職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。

㋒　材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ること。

㋓　作業課題が分かり，使用する道具等の扱い方に慣れること。

㋔　作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。

(ｲ) 職業生活に必要な思考力，判断力，表現力等について，次のとおりとする。

㋐　職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと。

㋑　作業に当たり安全や衛生について気付き，工夫すること。

㋒　職業生活に必要な健康管理について気付くこと。

B　情報機器の活用

職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器に触れることなどに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること。

イ コンピュータ等の情報機器に触れ，体験したことなどを他者に伝えること。

C　産業現場等における実習

実際的な学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　職業や進路に関わることについて関心をもったり，調べたりすること。

イ　職業や職業生活，進路に関わることについて，気付き，他者に伝えること。

家庭分野

A　家族・家庭生活

ア　自分の成長と家族

自分の成長に気付くことや家族のことなどに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 自分の成長を振り返りながら，家庭生活の大切さを知ること。

(ｲ) 家族とのやりとりを通して，家族を大切にする気持ちを育み，よりよい関わり方について気付き，それらを他者に伝えること。

イ　家庭生活と役割

家庭の中での役割などに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち，知ること。

(ｲ) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気付き，それらを他者に伝えること。

ウ　家庭生活における余暇

家庭における余暇の過ごし方などに関わる学習活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。